

令和7年度  
橋梁長寿命化事業 新館橋補修工事  
市道 新館線

数量計算書

# 数量総括表

種別		規格		単位	数量 (当初)	数量 (変更)	備考
塗装塗替工	塗膜剥離剤塗布工	塗膜剥離剤塗布工	塗膜剥離工 (2回分)	水性塗膜剥離剤塗布工	m <sup>2</sup>	210	1回当り105.73m <sup>2</sup> 使用
				水性塗膜剥離剤使用量, EPP (m <sup>2</sup> 当り0.5kg使用, ロス含む)	kg	113	1回当り56.58kg使用
		剥離剤及び塗膜かす回収・積込工	塗膜剥離回数2回		回	2	
		素地調整工	素地調整工	2種ケレン	m <sup>2</sup>	110	
	塗装工	外面塗装		サビバリヤー脱脂洗浄剤同等品以上塗り	m <sup>2</sup>	100	
				弱溶剤ふっ素樹脂塗料中塗(赤系)	m <sup>2</sup>	100	刷毛・ローラー1層
			弱溶剤ふっ素樹脂塗料上塗(赤系)	m <sup>2</sup>	100	刷毛・ローラー1層	
舗装撤去工	舗装版切断工	アスファルト舗装	t=60mm	m	6		
		舗装版破砕工	アスファルト舗装	t=60mm	m <sup>2</sup>	6	
	殻運搬処理	アスファルト殻運搬		m <sup>3</sup>	0.4		
		アスファルト殻処分		t	0.8		
遊間目地材撤去設置工	既設撤去工	遊間部既設エラストイト撤去工		m	7.4		
		遊間目地材設置工	設置工		m	7.4	
			(SMシール材必要量)	缶	2)		
		(SMプライマー必要量)	缶	1)			
アスファルト舗装工	表層	再生密粒度アスコン20F	t=60mm	m <sup>2</sup>	6		
排水施設修繕工	排水装置交換工 (ステンレス製)	既設撤去工	切断工	ガス切断	m	1.4	
			TSステンレス排水装置	床版貫通型 目皿付	基	4	
		新設設置工	排水装置設置工	(ポリマーセメントモルタル)	基	4	
					m <sup>3</sup>	0.05)	
		運搬・処理	舗装版切断工	コンクリート舗装	m	7	
			舗装版破砕積込	コンクリート舗装	m <sup>2</sup>	0.8	
			現地発生品 運搬	コンクリート殻運搬	t	0.05	
				コンクリート殻運搬	m <sup>3</sup>	0.04	
現地発生品 処分	無筋コンクリート殻処分	t	0.05				
			t	0.1			
防護施設工	環境対策資機材	各種機械使用日数0.9月以内		式	1	詳細は環境対策資機材数量表	
橋梁足場等設備工	上部工補修用吊り足場	吊り足場	TYPE-A1 吊足場	m <sup>2</sup>	70		
			床面シート張防護設置工	m <sup>2</sup>	70		
			両面朝顔	m <sup>2</sup>	70		
			板張り防護工	m <sup>2</sup>	70		
			シート張り防護工	m <sup>2</sup>	70		
			足場用吊りチェーン盛替え工	m <sup>2</sup>	70		
			湿式塗膜剥離剤養生シート工 (2回分)	m <sup>2</sup>	140		
交通管理工	交通誘導員	交通誘導員B		人	16		
安全費	安全衛生保護具			式	1	詳細は安全衛生保護具数量表	

1. 塗装面積総括表

(単位:m<sup>2</sup>)

項目		面積
塗膜剥離面積	主桁・横桁	113.20
	上フランジ(床版下面部)控除	-9.91
	支承	1.09
	排水管	1.35
	合計	105.73

(単位:m<sup>2</sup>)

項目		面積
塗装面積	主桁・横桁	113.20
	上フランジ(床版下面部)控除	-9.91
	支承	1.09
	排水管	
	合計	104.38

(1) 水性塗膜剥離剤塗布工

1回あたり	1回あたり	105.73 ×	1	=	105.73 m2
施工総面積	施工総面積	105.73 ×	2	=	211.46 m2

(2) 水性塗膜剥離剤使用量

水性塗膜剥離剤(m2当たり 0.5kg)			ロス率		
1回あたり	105.730 ×	0.5 ×	1.07	=	56.58 kg
総使用量	56.58 ×	2		=	113.16 kg

(3) 2種ケレン

$$105.73 \times 1 = 105.73 \text{ m2}$$

(4) 錆転換型特殊塗料 使用

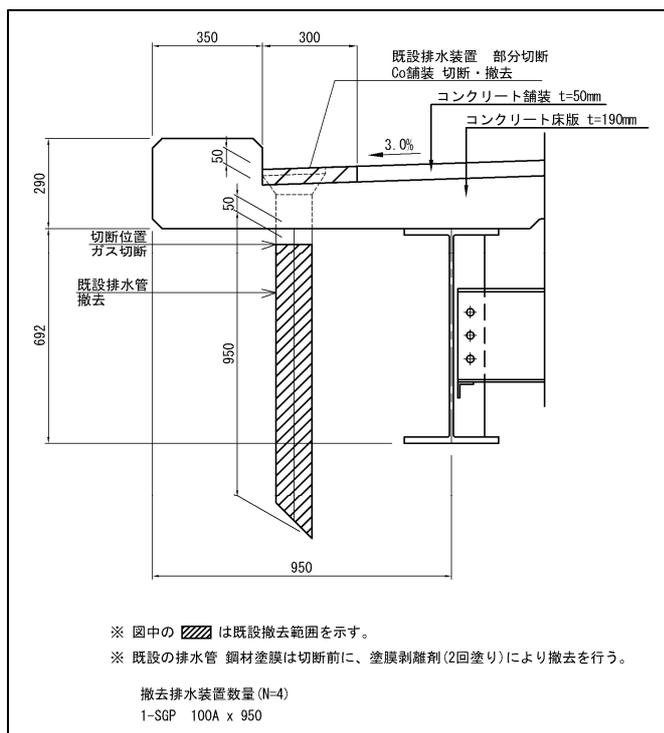
(下塗) サビバリアー脱脂洗浄剤下塗り		A = 104.38 m2
(中塗) 弱溶剤ふっ素樹脂塗料中塗(赤系) 刷毛・ローラー		A = 104.38 m2
(上塗) 弱溶剤ふっ素樹脂塗料上塗(赤系) 刷毛・ローラー		A = 104.38 m2





#### 4 排水管図

$$\begin{array}{ccccccc} \text{管の円周} & & \text{長さ} & & \text{本数} & & \\ 0.113 \times & 3.14 \times & 0.95 \times & 4 = & 1.348 & \text{m}^2 \end{array}$$



## 遊間部補修工

### 1. 遊間部既設エラストイト撤去工

(撤去数量)

A1側 L1= 3.7 m

A2側 L2= 3.7 m

合計  $\Sigma L = 7.4$  m

### 2. 遊間部 目地材設置工

遊間部補修数量 総括表

施工箇所	施工幅	施工厚	延長	充填箇所の容積	側面の面積	SMシール材必要量	SMプライマー必要量
	(mm)	(mm)	(m)	(L)	( $m^2$ )	(L)	(mL)
A1(車道)	20	35	3.0	2.10	0.21	2.3	32
A2(車道)	20	35	3.0	2.10	0.21	2.3	32
A1(地覆)	40	35	0.7	0.98	0.05	1.1	7
A2(地覆)	20	35	0.7	0.49	0.05	0.5	7
合計			7.4			6.2	78

○SMシール材のロス率 **1.11** 11%

○SMプライマーの使用量( $1m^2$ あたり) **150** (100~200)mL/ $m^2$

バックアップ材の延長は延長と同じ

(1) 缶数 (SMシール材)

$$N1 = 6.2 \div 4 = 1.55$$
$$= 2 \text{ 缶}$$

(2) 缶数 (SMプライマー)

$$N2 = 77.7 \div 100 = 0.78$$
$$= 1 \text{ 缶}$$

### 3. 舗装撤去工

#### (1) 舗装版切断工

区分： アスファルト舗装  
 舗装厚： 0.035 ～ 0.085 m  
 (平均： 0.060 m)

$$\begin{aligned} L1 &= 3.000 & = & 3.000 \text{ m} \\ L2 &= 3.000 & = & 3.000 \text{ m} \\ \Sigma L &= & = & 6.00 \text{ m} \end{aligned}$$

#### (2) 舗装版撤去工

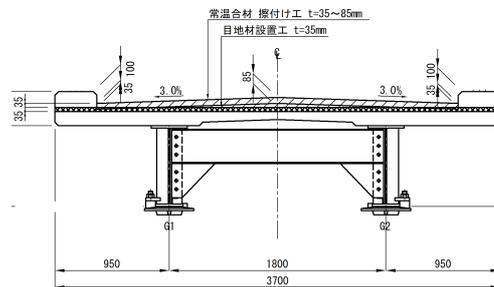
区分： アスファルト舗装  
 舗装厚： 0.035 ～ 0.085 m  
 (平均： 0.060 m)

$$\begin{aligned} A1 &= 1.000 \times 3.000 & = & 3.000 \text{ m}^2 \\ A2 &= 1.000 \times 3.000 & = & 3.000 \text{ m}^2 \\ \Sigma A &= & = & 6.00 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

#### (3) 殻運搬

区分： アスファルト舗装  
 舗装厚： 0.035 ～ 0.085 m  
 (平均： 0.060 m)

$$\begin{aligned} \text{断面A} &= ( 0.035 \times 3.000 \\ &+ 0.050 \times 3.000 / 2 ) & = & 0.18 \text{ m}^2 \\ V &= 0.180 \times 1.000 \times 2 & = & 0.360 \text{ m}^3 \\ \Sigma V &= & = & 0.36 \text{ m}^3 \end{aligned}$$



#### (4) アスファルト殻処理

区分： アスファルト

$$\begin{aligned} W1 &= 0.360 \times 2.300 & = & 0.828 \text{ t} \\ \Sigma W &= & = & 0.83 \text{ t} \end{aligned}$$

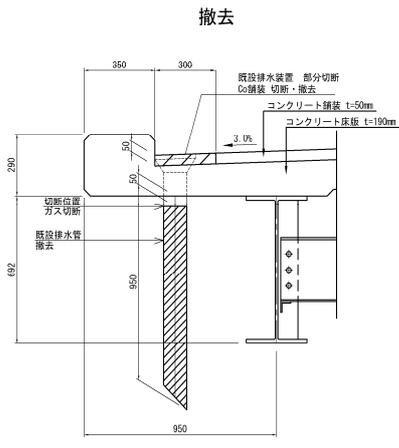
### 4. アスファルト舗装工

#### (2) 舗装版撤去工

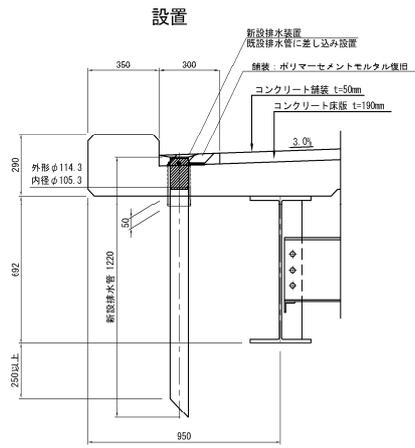
区分： アスファルト舗装  
 舗装厚： 0.035 ～ 0.085 m  
 (平均： 0.060 m)

$$\begin{aligned} A1 &= 1.000 \times 3.000 & = & 3.000 \text{ m}^2 \\ A2 &= 1.000 \times 3.000 & = & 3.000 \text{ m}^2 \\ \Sigma A &= & = & 6.00 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

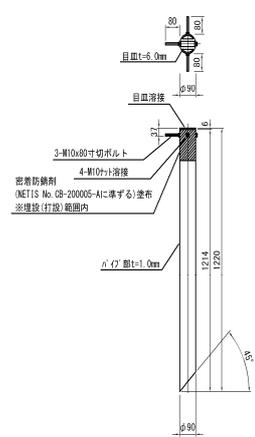
# 排水施設修繕工（数量）



※ 図中の は既設撤去範囲を示す。  
 ※ 既設の排水管 鋼材塗膜は切断前に、塗膜剥離剤(2回塗り)により剥去を行う。  
 撤去排水装置数量 (H-4)  
 1-SGP 100A x 950



TSステンレス排水樹詳細図  
 床版貫通型(全ねじタイプ)  
**TSDR-MH同等品以上**



製作数=4

名称	規格	計算式	数量
既設撤去工			
切断工	ガス切断	既設排水管：SGP 100A $L = 0.114 \times \pi \times 1 \times 4 = 1.433$ m	
		切断工 計 = 1.433 m	1.433 m
撤去鋼材		PIPE-φ114.3x4.5x950 w = 12.200 kg/m $W1 = 0.950 \times 12.200 \times 1 \times 4 = 46.360$ kg	
		撤去鋼材 計 = 46.360 kg	46.360 kg
新設設置工			
設置工	TSステンレス排水樹	床版貫通型(全ねじタイプ) TSDR-MH同等品以上 φ90, t=1.0mm, 目皿付き $N = 1 \times 4 = 4$ 基	
		設置工 計 = 4 基	4 基
設置延長		$L = 1.220$ m N = 4 基	
		$L = 1.220 \times 4 = 4.880$ m	
		設置延長 計 = 4.880 m	4.880 m
		密着防錆剤含む	
舗装復旧	ポリマーセメントモルタル	$V = (0.500 \times 0.500 - 1/4 \pi \times 0.045^2) \times 0.050 = 0.012$ m <sup>3</sup> $0.012 \times 4$ 箇所 = 0.048 m <sup>3</sup>	
			0.048 m <sup>3</sup>

## 排水施設修繕工

### 1. 舗装撤去工

#### (1) 舗装版切断工

区分：コンクリート舗装  
舗装厚：0.050 m

$$\begin{aligned} \text{1か所当り } L &= 0.500 + 0.300 + 0.150 \times 2 + 0.200 \times 3 = 1.700 \text{ m} \\ \text{箇所数：} & 4 \text{ 箇所} \\ \Sigma L &= 1.700 \times 4 = 6.80 \text{ m} \end{aligned}$$

#### (2) 舗装撤去工

区分：コンクリート舗装  
舗装厚：0.050 m

$$\begin{aligned} \text{1か所当り } A &= 0.500 \times 0.500 - 0.200 \times 0.200 = 0.210 \text{ m}^2 \\ \text{箇所数：} & 4 \text{ 箇所} \\ \Sigma A &= 0.210 \times 4 = 0.84 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

#### (3) 殻運搬

区分：コンクリート舗装  
舗装厚：0.050 m

$$\begin{aligned} V &= 0.840 \times 0.050 = 0.042 \text{ m}^3 \\ \Sigma V &= 0.04 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

#### (4) 殻処理

区分：無筋コンクリート

$$\begin{aligned} W &= 0.042 \times 2.350 = 0.099 \text{ t} \\ \Sigma W &= 0.10 \text{ t} \end{aligned}$$

## 足場工

(1) 塗装用 吊足場(TYPE-A1・板張・シート張り)、朝顔足場 (TYPE-B)、湿式剥離剤養生設備工

(1)-1 TYPE-A1・板張・シート張り吊足場面積

A1	=	3.700	×	17.440	=	64.530	m <sup>2</sup>
A2	=	2.000	×	1.500	=	3.000	m <sup>2</sup>
				ΣA	=	67.53	m <sup>2</sup>
					≒	<b>70.00</b>	m <sup>2</sup>

(1)-2 床面シート張り防護

A1	=	3.700	×	17.440	=	64.530	m <sup>2</sup>
A2	=	2.000	×	1.500	=	3.000	m <sup>2</sup>
				ΣA	=	67.53	m <sup>2</sup>
					≒	<b>70.00</b>	m <sup>2</sup>

(1)-3 TYPE-B・板張・シート張り吊足場面積

A1	=	3.700	×	17.440	=	64.530	m <sup>2</sup>
A2	=	2.000	×	1.500	=	3.000	m <sup>2</sup>
				ΣA	=	67.53	m <sup>2</sup>
					≒	<b>70.00</b>	m <sup>2</sup>

(1)-4 湿式塗膜剥離剤養生シート工

A1	=	3.700	×	17.440	=	64.530	m <sup>2</sup>
A2	=	2.000	×	1.500	=	3.000	m <sup>2</sup>
				ΣA	=	67.53	m <sup>2</sup>

剥離剤回数2回

A1	=	67.53	×	2.000	≒	<b>140.00</b>	m <sup>2</sup>
----	---	-------	---	-------	---	---------------	----------------

## 仮設工

### 環境対策資機材数量表

名称	仕様・規格	単位	数量	備考
負圧集塵機	55m <sup>3</sup> /min クリーニング含む最低保証1ヶ月	台	1	
集塵機用カートリッジ、フィルタ、パッキン	55m <sup>3</sup> /min 損料	台	9	
集塵機用吸引ダクト	55m <sup>3</sup> /min用 φ300	m換気	15.0	橋長を根拠
セキュリテールーム		基	1	
エアシャワー		月/台	0.9	
エアシャワー用1次フィルタ		枚	1	
エアシャワー用HEPAフィルタ	損料	ヶ月	0.9	
真空掃除機	3900L/min HEPAフィルタ付	月	0.9	
手洗い設備	現場設置型：ポンプ式手洗いシンク、石鹸	台	1	
環境対策動力器具類損料	動力器具類損料、燃料費	m <sup>3</sup>	211.4	
橋りょう塗装工	環境対策資機材設置・撤去 負圧集塵機吸引ダクト設置変え含む	人	16.0	

## 安全費

### 安全衛生保護具数量表

名称	仕様・規格	単位	数量	備考
エアラインマスク	剥離剤使用時 プレシャデマンド形エアラインマスク	個	3	3人工分
電動ファン付呼吸用保護具	防毒防塵全面マスクタイプ全損（剥離剤使用為）	個	3	3人工分
呼吸用保護具フィルタ	剥離剤使用時：防毒防塵 鉛対応型L3フィルタ（送気マスク×2個）	個	208	
呼吸用保護具フィルタ	防毒防塵 鉛対応型L3フィルタ	個	12	
化学防護服	使い捨て JIS T 8115適合品	着	64	
化学防護手袋	JIS T 8116適合品 損料	組	64	
使い捨て内手袋		箱	2	
化学防護長靴	JIS T 8117適合品 損料	個	3	
シューズカバー	JIS T 8115生地使用品	個	64	
廃棄用容器（内袋含む）	ドラム缶200L（収納予定量200kg/缶）	缶	4	
廃棄物用袋	中：850×650mm 100枚	梱包	1	10kg/枚で算出

---

## 交通管理工

---

交通誘導員は、起点側、終点側に各1人配置するものとし、配置日数は伸縮装置補修2日間、足場の設置2日間、排水施設修繕工の2日間、足場の撤去2日間の計8日間で計上する。

### 交通誘導警備員数（交通誘導警備員B）

配置人員	:	2 人	
配置日数	:	8 日	（施工実日数）
総人数	:	16 人	